

# 川でむすぶ

夏井川流域  
ネットワーキング

## <事業報告>

- ①地方流域水循環協議会 (3/15)
- ②令和6年度流域の会総会 (5/11)
- ③令和6年度総会 (5/19)
- ④新川春の植栽 (6/1)
- ⑤夏井川流域一斉水質調査 (6/9)
- ⑥三和小環境学習支援 (5/30・6/12)
- ⑦福島県水環境活動団体交流会 IN 福島 (6/15~/16)
- ⑧定例清掃 (2~6月)

## <行事案内>

- ①防災水辺教室
- ②夏井川かわくんだり
- ③夏井川沿いウォーキング

## <コラム>

サンショウウオについて

## 新代表世話人就任

桶田隆司

梅雨に入り、蒸し暑い日が続いておりますが、会員の皆様におかれましては、暑さ対策、大雨事前対応等に留意され、ご健勝のことと存じます、

先に開催された令和6年度定時総会において、会設立当初から代表世話人を務められた橋本孝一氏に代わり、新代表世話人を仰せつかりました桶田隆司です。これまで代表を務められた橋本孝一氏のご功績とご苦勞に、あらためて感謝申し上げたいと思います。また、これからは名誉顧問として活動されますので、引き続きご指導いただきたいと思います。私、微力ではありますが、会の目的が達成できるよう精一杯努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

当会は、『子供たちの笑顔が見える夏井川をめざして』をキャッチフレーズとして設立してから、四半世紀が経ち、現時点の一般会員56名、団体会員5団体、賛助会員13社のご協力が継続されております。この間に多くの事業を実施しており、令和5年度の事業報告を振り返りますと、学校支援9回、地域支援4回、親水事業6回、地域講座2回、河川清掃13回、世話人会12回と多くの活動を行っております。令和6度もこれらを継続し、自分たちのできる事は自分たちで行い、行政とも連携し、流域住民が参画した地域づくり(川づくり)の一翼を担っていきたく思います。新旧役員が一丸となって、活動を続けていきますので、会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## <事業報告>①地方流域水循環協議会

田中博文

令和6年2月1日(木) 県環境創造センター(三春町)にて標記研修会に参加しました。講演内容は、「持続的な水環境活動」として福島大学の川越教授、「阿武隈川での流域治水」として国交省福島河川国道事務所の秋田課長の講演と、その後参加者での意見交換でした。流域活動団体として当会に参加案内があり、当会から桶田さん、田中の2名の他、会場には約10名(日大中村名誉教授含む)、Zoom参加で数名(西郷くらしの会大越代表含む)の参加がありました。昨年の当研修会では橋本代表が流域の会としての活動内容を講演しましたが、今回の研修会でもあまり具体的な話しはなく、活動団体では参加者不足による継続維持困難な状況であること等の課題は残ったままの印象でした。



会場の様子



川越教授の講演



秋田課長の講演

## <事業報告>②令和6年度夏井川流域の会総会

田中博文

令和6年5月11日(土) 小野町こまち交流館にて令和6年度夏井川流域の会総会(第18回)を開催しました。15:00から総会が開かれ、昨年度報告・今年度予定報告の審議がなされ了承されました。基調講演では、NPO小野自然倶楽部大方代表の活動紹介があり、当会との共同事業が提案されました。その後16:30から同会場で懇親会となり、久々に会った方、遠路から駆けつけて下さった方など交えて懇談しました。BBQとビールサーバに加えてバンド演奏があり、最高の懇談会でした(何か勿体ない...)。さすが小野町は夜寒かったです。

## <事業報告>③令和6年度総会

桶田隆司

令和6年5月19日(日)、夏井川河川防災ステーションにて令和6年度の定時総会が開催されました。

議長に碓川寛さんを選出し、①令和5年度事業・決算報告、②令和6年度事業計画・予算、③役員改選の3議案について審議され、事業報告、事業計画は事務局案のとおり承認されました。役員改選では、会設立(平成12年度)から代表世話人を務めてきた橋本孝一氏が名誉顧問に、新しい代表世話人として桶田隆司が就任することになりました。橋本孝一氏は、会設立から四半世紀と長きにわたり代表を務めてこられ、そのご功績とご努力に、あらためて感謝申し上げたいと思います。

橋本孝一氏に、会から記念品を贈りました。(記念品：デジタル電波時計カレンダー付)



総会の様子



桶田新代表挨拶



記念品贈呈

◆新役員名簿（令和6年度～）

役 職	氏 名	備 考
代表世話人	桶田 隆司	新任（交代）
副代表世話人	阿部 孝男	
副代表世話人	佐藤 雅子	
副代表世話人	井上 久美子	
副代表世話人	江尻 勝紀	新任（交代）
副代表世話人・事務局・会計	田中 博文	
世話人	高荒 智子	新任
世話人	神田 芳江	新任
世話人	阿部 富枝	新任
世話人	吉田 真弓	新任
監 事	碓川 寛	新任（交代）
監 事	芥川 一則	
名誉会員	佐藤 忠	
名誉顧問	橋本 孝一	新任

◆基調講演 いわき市森林組合 代表理事組合長 田子英司様  
『福島の林業の現状と、これから』と題して講演いただきました。

- ・福島県の森林面積は、北海道、岩手県、長野県に次いで4番目に多い。
- ・福島県における木材供給量に占める県産材の割合は67%程度。
- ・森林整備(R2年度)は、間伐実績4,238haに対し、造林は238ha、伐採後に植えていない！



木材価格の長期低迷により、再造林意欲が減退し荒廃した森林が増加している。

近年、ヒノキの価格が下がり土台等に使用され、集成材として高強度が期待できるカラマツ等の価格が上昇している。

- ・森林境界の不明確化も顕著で、R元年から制度化された不明確解消事業も年間150ha程度で、28,000haの森林を処理するのに単純計算では150年もかかってしまう。
- ・就労人口も高齢化している。

等々の課題が多い林業の活性化のため

- ・森林経営管理制度：経営管理が行われていない森林を市町村が仲介役として森林所有者と担い手を繋ぐ事業

- ・福島県森林環境基金事業による補助制度
- ・林業アカデミーふくしまの開校：これまでに15人の卒業生の内1人の女性がいわきに就労している
- ・新しい林業（エリートツリー）を活用し、収穫期間を50年から30年に短縮。

これらが繋がれば、林業の生産性が向上し、黒字経営となり、給与も上昇可能となる見通しがあるとのことでした。

また、田子様私案として、川上側の森林整備や植林面積を正確に把握し、吸収源としての能力を正當に評価しクレジット化し、川下側の事業体が購入した資金を還元することにより森林整備の促進を図るという『J-クレジット化』に挑戦されるとのことでした。

森林整備と大雨被害の関係についても話され、山が整備されていないと洪水が起きやすいという事例も紹介され、森林と河川は繋がっているのです、夏井川の会とも一体となって汗をかこうと話されました。

当会としても、山、川、海の一体となって流域活動があると思っております。これからもご指導をお願いしたいと思います。ご講演ありがとうございました。

◆いわき建設事務所 小川航司主幹（夏井川・好間川整備）様から、令和元年の東日本台風の被害対応の『夏井川災害復旧助成事業』『好間川災害復旧助成事業』の進捗状況と利活用、維持管理方法については、地域の方々と意見交換しながら進める旨、説明いただきました。

◆いわき市河川課 飯田貴教主幹兼課長補佐様から、現在いわき市が進めている、流域治水の取り組みの説明いただきました。



いわき建設事務所小川主幹



市河川課飯田主幹

総会後は、夏井川河畔の現地調査を行いました。防災ステーションを核とした空間の利活用と周辺の維持管理の重要性を認識しました。

総会で承認された事業を進めていきますので、会員の皆様方のご協力をお願いいたします。



## <事業報告>④新川春の植栽

桶田隆司

令和6年6月1日（土）、ふるさと新川をきれいにする会が主催する、『新川、春の植栽』に参加しました。夏井川流域住民による川づくり連絡会は、通称『ひょうたん島』親水空間の利活用を積極的に行うため、県との意見交換会等を行っていることもあり、共催として参加しております。

当日は、市議会議員、県いわき建設事務所、市河川課の行政職員のほか、広島県からも6名が参加され、総勢35名で、①階段護岸の土砂撤去、②堤防の草刈り・撤去、③階段花壇の花植えを行い、一息ついてから、④飛び石から笹船競争を行いました。

広島県の方々は、東日本大震災以降、毎年応援に来てくださっているそうです。縁に感謝ですね。

9時からの開始予定でしたが、夏井川の会員は、出足良く8時からマシンのスイッチを入れ、ひょうたん島周辺を中心に作業を行い、9時からの本番では、堤防斜面、川の中も本格的に草刈りを行いました。多くの方が草刈り機を使って作業したので、見る見るうちにきれいになっていきました。

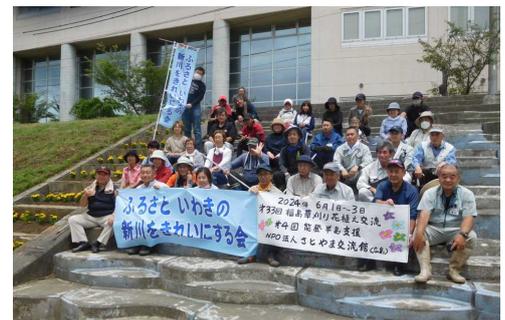
草刈り後は、花壇の植栽です。草花のポット苗を、根っこを少し手でちぎり、植えていきます。根っこを少しちぎることにより、花がより強く根付くことに繋がるそうです（園芸ソムリエ芦澤先生の説明）。花を植えたあとは、新川の水をじょうろに汲んで水やりを行います。この水汲みでも飛び石が役に立っています。

一息して、きれいになった階段、花壇に満足しながら、笹船競争を行いました。参加者のうち笹船をつくったことのない人が、10数人もいたのには驚きました。笹の裏に番号を書いておくことで、ゴールした時に誰の笹船かがわかりやすくなります。良い工夫でした。レースは、飛び石に8人（8艇）が並んで4レースを行いました。コースによっては、下流に流れないで、上流に戻ってくる笹船、転覆・沈没しながら流れる笹船もあり、1着、2着にはきれいにする会から豪華景品が提供され、かなり盛り上がりました。童心に戻った感じです。

参加された皆様、草刈りは疲れましたが、笹船で大いに笑えましたね。お疲れ様でした。

当会では、これまで新川ひょうたん島の親水空間の利活用を議論し、県の事業により飛び石や斜面の階段護岸が設置されました。この空間整備の効果は大きく、通常の散策以外にも、桜の花見シーズンにも多くの方が散策されています。

今後もこの『新川ひょうたん島』が、多くの方に利用される河川親水空間となることを期待しております。・・・将来、街中コンサートの会場に…………。



清掃・植栽の様子



笹船競争



R5.4 桜満開時の利用状況

## <事業報告> ⑤夏井川流域一斉水質調査

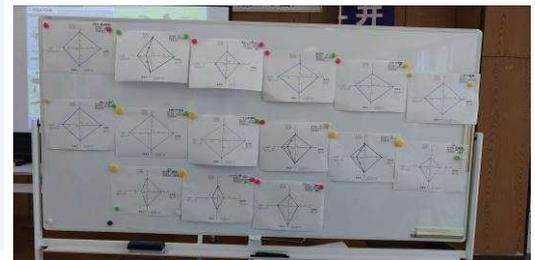
阿部孝男

今年も全調査地点 27 地点を対象に 6 月 9 日（日）に小川公民館で、参加人数は当会会員を含め 24 名（小学生 3 名、福島高専学生 4 名含む）でした。子どもたちの参加が少なかったことは残念でしたが、採水した 27 地点の検水を手際よく項目ごとに分析し全箇所を記録することが出来ました。

6 月 5 日の世界環境デーに合わせた身近な水環境の全国一斉調査も今年で 21 回目を迎え夏井川流域の会主催の一斉水質調査も今年が 18 回目、この調査は福島県環境創造センターで実施している「せせらぎスクール」にもエントリーして行っています。



調査 27 地点を示したマップ



分析結果から作成したレーダーチャート

現地小川公民館での計測は「COD(パックテスト)」「導電率」「におい」「透視度」を行いました。高専の学生さんや初めて水質分析する方多くみなさん興味深く行っていました。

分析結果は調査一覧表にまとめた他、水の汚れの様子が一目でわかるレーダーチャートを作成し、上流から下流までの水の汚れていく様子や自浄作用による回復する様子が確認できました。



パックテストなどの様子



透視度計測の様子



他に室内試験 COD、BOD、pH、導電率等を福島高専さんに、河床土砂の放射性物質計測をパルシシステムさんにお願いました。

調査結果は、次項結果表に示すとおりですが、傾向としてはやはり小野町周辺の若干水質悪化～夏井川渓谷での良好な状態～下流域での水質悪化傾向が例年通りみられました。

令和6年度 夏井川流域一斉水質調査 結果表

実施日:令和6年6月9日(日)、午前10時 採水		天候:晴れ		実施主体:夏井川流域の会											
NO.	河川名	採水地点	現地計測結果			現地一斉試験結果 :小川公民館			室内試験(福島高専での測定結果)						
			水温	流速	COD <sub>mn</sub> 5分法 (3回平均値)	導電率	におい	透視度	pH	導電率	SS	COD	BOD	川砂の放射性物質濃度 (Cs134+Cs137)	
			℃	m/秒	mg/L	mS/cm(*)	どんなにおい?	cm	17が: 中性	mS/cm(*)	mg/L	mg/L	mg/L	μBq/g(Bq/Kg)	
1	夏井川(本川)	神俣・滝根中前	15.0	0.19	2.67	11.0	96	6.94	190	2.2	1.8	0.2			
2	梵天川	夏井川合流前	15.5	0.33	7.00	22.4	土っぽいにおい	93cm	7.07	348	4.2	6.8	1.2		
3	夏井川(本川)	梵天川合流後	15.0	0.33	1.00	15.2	強い臭い(土)	100以上	6.99	258	1.2	1.4	1.0		
4	右支夏井川	飯豊	16.5	0.33	3.67	10.2	土っぽいにおい	73cm	7.22	167	5.1	2.8	1.6		
5	右支夏井川	小野町役場裏	16.5	0.30	4.00	15.1	磯臭	59cm	7.15	220	6.2	3.0	2.0		
6	夏井川(本川)	夏井1小前	17.0	0.39	4.00	15.9	磯臭	63cm	7.19	248	3.0	2.6	0.6		
7	夏井川(本川)	五味沢	18.6		3.33	14.1	なし	86cm	7.35	219	2.0	2.2	0.4		
8	夏井川(本川)	三坂川合流前	17.7		4.00	15.7	少しにおう	100以上	7.43	241	1.8	2.4	1.2		
9	夏井川(本川)	三坂川合流後	18.1		2.67	15.1	ちよっとにおう	88cm	7.49	233	2.0	2.0	0.6		
10	夏井川(本川)	鹿又川合流前	19.6		2.00	12.6	少し土のにおい	99cm	7.56	227	1.5	2.6	1.0		
11	鹿又川	夏井川合流前	15.5		1.00	4.7	なし	100以上	7.78	82	1.0	3.2	2.0		
12	夏井川(本川)	加路川合流前	19.5		1.67	11.8	なし	100以上	7.53	180	1.7	1.0	2.0		
13	加路川	夏井川合流前	16.6		1.00	7.1	なし	100以上	7.64	115	0.6	1.6	0.6		
14	夏井川(本川)	小川公民館前	18.1		2.33	11.8	なし	100以上	7.54	177	1.4	2.0	0.8		
15	小玉川	夏井川合流前	18.1		3.33	13.5	少し弱いにおい	63cm	7.51	207	6.7	2.8	1.2		
16	夏井川(本川)	久太夫橋	22.1		4.00	13.7	川瀬のにおい	78cm	7.48	209	4.8	3.4	1.8		
17	茨原川	稲(びん)橋	19.8		3.33	27.5	土の臭い	73cm	7.24	431	7.6	4.2	2.2		
18	夏井川(本川)	梨谷堰下	19.8		3.67	16.7	土の臭い	80cm	7.41	260	6.4	2.0	1.8		
19	夏井川(本川)	磐城橋	23.3	0.25	5.00	17.0	土っぽいにおい	52cm	7.44	258	21.8	5.6	1.2		
20	好間川	松坂つり橋	20.2	0.67	2.00	21.4	なし	100cm以上	7.49	342	2.2	1.2	0.6		
21	好間川	北目	20.4	0.32	2.33	22.2	藻のようなにおい	49cm	7.48	357	22	3.4	1.4		
22	夏井川(本川)	鎌田	22.0	0.42	3.33	16.6	藻のようなにおい	71cm	7.51	262	6.2	2.4	2.0		
23	新川	阿弥陀堂前	18.5		2.00	42.7	藻のようなにおい	100cm以上	7.37	653	2.2	1.2	0.8		
24	新川	いわき総合高校前	22.0		2.67	51.7	磯臭+微下水臭	85cm	7.51	791	3.8	2.0	1.4		
25	新川	古川橋	24.5	0.50	4.00	61.4	なし	25cm	7.49	951	6.8	3.0	2.4		
26	夏井川(本川)	六十牧橋	24.9	0.60	4.00	26.1	下水臭	36cm	7.61	434	4.8	2.8	2.7		
27	夏井川(本川)	河口	22.8	0.00	4.00	410.0	磯臭+藻臭	51cm	7.42	6450	9.0	2.6	1.3		
									7.40	551	5.1	2.7	1.3	#DIV/0!	

昼食をはさんで午後は水生生物調査を行いました。例年行っている小川公民館前の河原が昨年の台風洪水によって流出し、急流～砂州になっており水生生物採取が不可能であったため、公民館近くの支流の下田川で水生生物調査を実施しました。

採れた水生生物は、ヘビトンボ、カワゲラ類、カゲロウ類、ヒゲナガカワトビケラなどの水質階級 I に棲む生物が殆どで、夏井川周辺の小川地区の水質は非常にきれいな水であることが分かりました。



水生生物調査の様子

水質調査結果については「身近な水環境の全国一斉調査 (みずとみどり研究会) <http://www.japan-mizumap.org/>」に報告済みで、全国の集計は12月ごろになるようです。

参加者のみなさん、スタッフのみなさんお疲れ様でした。

分析にご協力いただきました福島高専さん、パルシステムさん大変お世話になりました。

子供たちの笑顔が見える夏井川、子供たちの歓声が聞こえる夏井川を目指して今後も継続していきたいと思っておりますので来年もよろしくお祈りします。



## <事業報告> ⑥三和小学校環境学習支援

橋本孝一

本年度の河川環境に関する講座（せせらぎスクールとしての取り組み、三和公民館主催）が、三和小学校6年生14名を対象に取り組み、当会が支援に当りました。本講座は、三和地区を流れる好間川を対象に様々な体験活動を通じて好間川と日々の生活との結びつきについて理解を深めようと企画されたものです。

### ◆第1回目（5月30日）～ 座学と雨降山の現地視察

当初、5月29日の予定でしたが、雨天のため翌日30日（木）実施となり、当会からは4名が支援に当たりました。

まず、教室で、①「森林の役割・三和地区の森林の状況について」いわき市森林組合の渡會礁さんから説明があり、その後、当会から、好間川流域や好間川流域と生活との係りについて、パワーポイントと模型等を使って理解を深めてもらいました。その後、バスで好間川の水源地でもある「雨降山」（標高771m）に移動。現地では、地元の加藤公昭さんの案内で、山を登りながら森林や溪流の様子、山頂に近い窪地では湧き水の様子等を観察しました。また、溪流に棲息する生物の採取・観察にも挑戦。サンショウウオ、トワダカワゲラ、トビケラ等、きれいな水辺に棲む生物も観察できました。

今回の現地視察に際しては、数日前に下市萱地区で熊の目撃情報があったことから、児童全員が鈴を付ける等、熊対策に万全を期しての実施となりました。

### ◆第2回目（6月12日）～ 三和小中学校脇の好間川でのフィールドワーク

当日は、天候にも恵まれ快適なフィールドワークになりました。学習支援には、当会から4名と平川英人さん（いわき環境研究室）が参加しました。8時25分開始。早速学校脇を流れる好間川へ。現地では、まず、川の流れの様子を観察の後、3班に分かれての生き物調査に挑戦しました。40分程で、多くの水生生物が採取されました。江尻勝紀さん、平川さん達のアドバイスで、採取した生物を持ち寄って分類しながら、それぞれの生き物の特徴等について理解を深めていました。観察後、感謝を込めて生き物は川に戻してやりました。

その後、学校に戻り、理科室で、予め採取していた好間川の4地点（水源、学校脇、松坂吊橋、北目）の水質（COD、導電率、透視度、におい）を調べ、結果をレーダーチャートにグラフ化し、各地点の水質の違いやその原因について考えました。

ヒラタカゲロウ	3	サナエトンボ	多数	ナガレトビケラ	1	カワゲラ	多数
チラカゲロウ	9	オニヤンマ	5	シマトビケラ	1	ナベバタムシ	多数
マダラカゲロウ	15	イトンボ	2	トビケラ	4	カワニナ	1
トゲマダラカゲロウ		ヒル	3	ヘビトンボ	4	サワガニ	3
タニガワカゲロウ		アブラハヤ	3	ヘビトンボの成虫	2	ドジョウ	1

※第3回目（7月10日の予定）は、バスにて、学校～夏井川合流点、河口までの現地観察。



1回目：雨降山源流



1回目：源流付近で調査



2回目：好間川で調査



2回目：室内で水質検査

## <事業報告> ⑦福島県水環境活動団体交流会IN福島

田中博文

令和6年6月15日（土）～16日（日）福島市こむこむで福島県水環境活動団体交流会IN福島が開催されました。今年で19回目となり、当会から6名参加しました。

1日目は交流会として基調講演（日本河川教育学会金沢講師による「河川と子どもの教育」、日本考古学会協会柴田講師による「荒川流域の歴史」）と座談会、事例発表があり、約80名、11活動団体の参加でした。夕方から会場を移動して意見交換会（参加者35名）があり、恒例の団体ごとの挨拶など2時間はあっという間でした。

2日目の現地視察の参加者は22名で、荒川流域の土木遺構・堰堤や水防林、荒川資料館を視察しました。荒川佐々木会長が水防林を歩く途中で爆竹を度々鳴らし、道中で熊の痕跡は確認できなかったものの、先週水辺で熊が撮影された場所を対岸から見ると少し寒気がしました。

今回は来年6月に広野町浅見川での開催予定ですので、多くの方の参加をお願いします。

詳しい写真は当ホームページをご覧ください。



交流会の様子



交流会集合写真



座談会



金沢講師



柴田講師



意見交換会心の水



ダム式万歳三唱



意見交換会集合写真



佐原奥入瀬



地蔵原堰堤

## <事業報告> ⑧定例清掃

田中博文

当会では、基本毎月第一土曜の朝7時30分から清掃活動（草刈、ごみ拾い、泥上げ等）を行っています。清掃場所は、当会の事業を行っている場所、小学校環境学習支援を行っている場所を中心に、①夏井川河口サイクリング公園脇の親水広場、②夏井川河川防災センター周辺、③新川アリオス裏のひょうたん島の3箇所を主とし、当会事業以外にも親水空間として市民の皆さんに利用して貰いたいと考え、さらには海へのごみ流出の最終関門である「川」で食い止めたいことから、平成22年（2010年）から継続して清掃を実施しています。なお、当会は「いわき市クリーンピー応援隊」に登録しており、集めたごみは市資源循環推進課へ回収をお願いしています。会報前号（1/10）以降の清掃活動は下表のとおりです。

月日	区分	清掃場所	内容	参加者数	備考
2/17	臨時	新川ひょうたん島	土砂撤去・ごみ拾い	8名	
3/2	3月定例	新川ひょうたん島	土砂撤去・ごみ拾い	15名	高校生5名参加
4/6	(4月定例)	夏井川防災センター	ごみ拾い	10名	雨で中止
4/27	5月定例	新川ひょうたん島	土砂撤去・草刈・ごみ拾い	11名	新川会と協同
5/18	臨時	夏井川防災センター	草刈・ごみ拾い	6名	総会前
5/25	6月定例	夏井川河口親水広場	草刈・ごみ拾い	8名	
6/29	7月定例	夏井川防災センター	草刈・ごみ拾い	7名	



新川ひょうたん島



夏井川河川防災センター



河口右岸親水広場

1～2月は極寒期で中止の予定でしたが、写真左上の通り、新川ひょうたん島があまりにも土砂堆積が酷く通行困難だったため、2月と3月の2回で清掃を行ないました。防災センターと河口はすぐ草が繁茂するので四苦八苦しています。参加者は年々高齢化していますので、多くの方、特に若い力（当会では60歳代まで若手と呼ぶ）の応援をお願いします。

### ◆次回予定 午前7：30～（1時間半程度）

- ・ 8 / 3（土）【8月定例】 夏井川河口親水広場
- ・ 8 / 17（土）【臨時】 夏井川防災センター・・・翌日の防災水辺教室の前準備
- ・ 8 / 31（土）【9月定例】 新川ひょうたん島
- ・ 10 / 5（土）【10月定例】 夏井川河口親水広場
- ・ 11 / 2（土）【11月定例】 夏井川防災センター

※日時・場所が変わる可能性があるため、世話人または当ホームページで確認下さい。

※小雨決行ですが、雨天は中止です。

## <行事案内>

今後予定している行事をお知らせします。但し、日時が変更となる可能性がありますので、当会世話人または当ホームページで確認して下さい。参加希望の方は、保険に入るので参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を事務局または当会世話人へ申込みの連絡をお願いします。

### ①防災水辺教室(第2回)

- ・日 時 8月18日(日) 9:00~12:00
- ・場 所 夏井川河川防災センター
- ・内 容 防災・水辺安全講座、新田川でカヌー遊び・水生生物調査
- ・参加費 無料
- ・申込み 先着20名まで
- ・各自準備 濡れても良い服装・靴(着替え)、帽子、飲み物

### ②夏井川かわくだい(第10回)

- ・日 時 8月25日(日) 10:00~14:00
- ・場 所 夏井川河口右岸親水広場(パークゴルフ場の奥)
- ・内 容 カヌー・ボート遊び、カニ釣り
- ・参加費 1人500円(保険代)
- ・申込み 先着30名まで
- ・各自準備 濡れても良い服装・靴(着替え)、帽子、飲み物、昼食

### ③夏井川浴いウォーキング(第6回)

- ・日 時 10月27日(日) 9:30~12:30
- ・場 所 江田キャンプ場(江田駅近く)
- ・内 容 [出発]江田~背戸岬廊~籠場の滝~[到着]第二発電所 L=4.0km
- ・参加費 無料
- ・申込み 先着20名まで
- ・各自準備 歩きやすい服装・靴、帽子、飲み物、昼食
- ・備 考 帰りは出発地点に役員車で戻ります。

## <コラム>サンショウウオについて

江尻勝紀

山椒魚（サンショウウオ）の名は、体にサンショウに似た香りがある種がいることによる。日本、中国、台湾、アメリカなどに生息している。

特徴として、一般に知られているのは、全長50cm～150cmと世界最大の両生類の一つであるオオサンショウウオだが、他の種類は20cm以下と小型である。他の両生類と同じように、皮膚には鱗がなく粘膜に覆われている。呼吸の大半を皮膚呼吸に頼っていて、皮膚が湿っていないと生存できない。両生類は一般的に前足に4本、後足に5本の指を持つ。産卵場所は種類によって異なり、流れのない止水に産卵するものと、溪流の流れの弱い場所や伏流水中に産卵するものに大別される。小型のサンショウウオの卵は数cm～10cm程度のバナナ状やコイル状の寒天質のさやに包んで産み、1つのさやにつき数個～数十個の卵が入っている。利用として、江戸時代初期から食料として用いられていた。現在も、串焼きにする例があり、中国ではスープなどの食材とされている。長野県秋山郷地域・阿智村地域等では、乾燥させ、串焼きにして飲むと疝の虫が治るや夜尿症治療に効くとする迷信が残っている。地域によっては、サンショウウオのことを「山ドジョウ」と称している。日本には、49種類が棲息する。乾燥に弱く、動きも遅い動物で、他の地方の個体との交雑が起こりにくい。そのため、地方ごとに独自の種類が分布している。開発などで種の存在が脅かされやすく、絶滅が危惧されている種類や地域個体群も多い。

福島県いわき市などに生息するサンショウウオが新種と判明し、これまでは、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種Ⅱ類のトウキョウサンショウウオに分類されていた。2022年8月に遺伝的な解析から新種として独立したものである。これが、「イワキサンショウウオ」と命名された。大きさは、頭胴長4～7cm、分布は福島県東南部から茨城県・栃木県東部で、生息環境は標高300mほどまでの森林に生息している。アクアマリンふくしまでは、新種判明を機にバックヤードで飼育していた「イワキサンショウウオ」を公開展示するようになった。



三和小(1回目)水源地視察にて

## <事務局より>

### ■年会費の納入をお願いします

今年度から個人年会費が1000円から2000円に変更（1000円アップ）となっています。何卒ご理解のほどお願いします。あわせて、新規会員の募集について周りの方々へお声かけなどご協力をお願いします。

### ■会報に記事を投稿してみませんか

当会は住民の立場で川に関して見て、考え、行動していこうとする会なので、皆様のご意見や希望等についての記事投稿をお待ちしています。どなたでも構いませんので、事務局または世話人へお知らせ下さい。但し、投稿頂いた記事は世話人会で内容精査してからの掲載となります。

### ■世話人会に参加してみませんか

当会は毎月第1火曜日に「世話人会」（18：30～）を開催し、事業の反省や今後の在り方など、いろいろな話し合いを行っています。会議時間は1時間程度で、誰でも参加できますので、是非ご参加ください。

会場は主にいわき市文化センター（いわき市平堂根町1-4）の会議室ですが、5月～12月（予定）は夏井川河川防災センター（好間町川中子字落合96-2）の2階会議室で実施しています。但し、開催日も含めて変更となる場合がありますので、世話人または事務局へご確認下さい。

### ■災害時の準備・対応を再確認しましょう

昨年9月、福島県初の線状降水帯が発生し、豪雨で内郷地区をはじめ市内各所で被害が生じました。いわき市ハザードマップは平成25年4月に観測された1時間当たり91mmの降雨を想定していますが、内郷地区については上記の豪雨を受けてハザードマップが見直されています。

天災はいつ来るか判りませんので、どこを通過してどこに逃げるか、どう連絡するか、緊急持出し品などを再確認しましょう。

～～～ 会員の皆様からのご意見・御寄稿をお待ちしております ～～～  
(活動報告・行事予定は下記ホームページでも案内しています)

【会報 第62号】 2024.7.18

発行 : 夏井川流域住民による川づくり連絡会 (略称:夏井川流域NW)  
代表世話人: 桶田隆司  
事務局 : 〒972-8311 いわき市常磐水野谷町亀ノ尾171地質内  
田中博文 Tel)0246-88-8810 Fax)0246-88-8907  
ホームページ : <http://blog.natsuigawa-karyu.net/> 夏井川流域で検索